

技術提案の依頼

< 目 次 >

1. 技術提案及び市場調査の依頼目的	1
2. 技術提案の依頼概要	1
(1) 依頼内容	1
(2) プラントメーカーへの提示資料	2
(3) 調査期間	2
(4) 依頼方法及び提出方法	2
3. 市場調査の依頼概要	3
(1) 依頼内容	3
(2) プラントメーカーへの提示資料	3
(3) 調査期間	3
(4) 依頼方法及び提出方法	3
4. 依頼先プラントメーカーの抽出	4
(1) 抽出に当たっての考え方	4
(2) 抽出条件	4

1. 技術提案及び市場調査の依頼目的

松戸市では、新焼却施設に関する設計図書を依頼し、施設整備調査の検討に当たっての参考データや同時並行で行っている環境影響評価での予測評価に活用するほか、費用についてはPFI等導入可能性調査における定量評価（VFM算出）に活用するための参考資料とすることを目的とします。

また、最適な事業方式を検討するためや、事業期間、リスク分担等の設定に関する参考資料とすることを目的に市場調査も実施します。

2. 技術提案の依頼概要

(1) 依頼内容

松戸市からプラントメーカーへ依頼する技術提案の内容を表1に示します。

表1 技術提案の依頼内容

依頼項目	依頼内容
施設概略仕様書	①施設諸元 提案方式、建築計画（大きさ、階建て）、エネルギー回収計画、排ガス諸元（排ガス量等） ②技術的特徴
フローシート等	①全体処理フロー（低質ごみ、基準ごみ、高質ごみ） ②排水処理フロー（低質ごみ、基準ごみ、高質ごみ） ③灰処理フロー（基準ごみ） ④蒸気フロー（ボイラ・タービン発電）（基準ごみ） ⑤熱収支フロー（蒸気給水バランス）（基準ごみ） ⑥電力収支・発電量（発電量は1炉運転時、2炉運転時、3炉運転時にわけて記載）（基準ごみ） ⑦性能曲線（入熱量対ごみ処理量）
図面	①全体配置・動線計画図 ②各階平面図 ③立面図（2方向）
公害防止関連	①各機器の騒音レベル ②各機器の振動レベル ③工事中に関する事項 （仮設沈砂池等の容量、産業廃棄物及び残土の発生量・処分方法）
工事工程	①ごみ処理施設整備の工程表（既存焼却施設の解体・撤去工事含む） ②建設機械及び工事搬入車両台数
見積書関連	①設計・建設費、②運転体制、③運営費、④運転経費、⑤単価表、 ⑥副生成物発生量

(2) プラントメーカーへの提示資料

- ① 依頼文 : 松戸市の公印省略
- ② 依頼説明書 : 本依頼にかかる提出書類や提出先等を記載した資料
- ③ 事業概要書 : 本事業の内容を記載した概要書
- ④ 様式集 : 本依頼の回答様式

(3) 調査期間

依頼 : 令和 5 年 11 月 ● 日

提出 : 令和 6 年 3 月 ● 日

(4) 依頼方法及び提出方法

- ① 依頼方法 : 受託会社からプラントメーカー窓口にメール送付
- ② 宛 名 : 松戸市長
- ③ 提 出 先 : 受託会社
- ④ 提出方法 : 郵送又は持参 (2 部)、電子データは 1 部

3. 市場調査の依頼概要

(1) 依頼内容

松戸市からプラントメーカーへ依頼する市場調査の内容は次のとおりです。

- ① 本事業への参入意向
- ② 希望するごみ処理方式とその理由
- ③ 希望する事業方式とその理由
- ④ 想定する運営期間（20年間）に対する意見
- ⑤ 想定する事業範囲（設計・建設、運営・維持管理）に対する意見
- ⑥ 想定するリスク分担に対する意見

(2) プラントメーカーへの提示資料

- ① 依頼文　　：松戸市の公印省略
- ② 依頼説明書：本依頼にかかる提出書類や提出先等を記載した資料
- ③ 事業概要書：本事業の内容を記載した概要書
- ④ 様式集　　：本依頼の回答様式

(3) 調査期間

依頼：令和6年2月●日

提出：令和6年3月●日

(4) 依頼方法及び提出方法

- ① 依頼方法：受託会社からプラントメーカー窓口にメール送付
- ② 宛　　名：松戸市長
- ③ 提　出　先：受託会社
- ④ 提出方法：郵送又は持参（2部）、電子データは1部

4. 依頼先プラントメーカーの抽出

(1) 抽出に当たっての考え方

松戸市では、施設整備調査等の検討に当たって、プラントメーカーへ施設概要や見積等の提出を依頼します。依頼に当たり、実績が少ないプラントメーカーからの回答は信頼性が低くなり、適切な調査ができなくなると考えられます。また、提出を受ける設計値は、環境影響評価での予測評価にも活用します。

そのため、過去の実績を調査した上で、新焼却施設と同等の実績（施設規模、ボイラ・タービン式発電設備あり等）が多い信頼性のあるプラントメーカーに技術提案を依頼することが重要と考えます。

(2) 抽出条件

依頼先の対象となるプラントメーカーの条件は、表 2 に示すとおりです。これら 3 つの条件をともに満たした施設を保有するプラントメーカーへ技術提案を依頼します。

表 2 依頼先の抽出条件

No	抽出条件	理由
1	300t/日以上以上の全連施設（焼却：ストーカ式又は流動床式、溶融：シャフト炉式又は流動床式）を保有 ※1 炉当たり 100t/日以上かつ 3 炉以上	各階平面図作成や建設費算定など、新焼却施設と同規模の施設を建設した実績をもつことが重要であり、かつ設計値を活用した環境影響評価での予測評価の条件となるため。
2	ボイラ・タービン式発電設備を設置した施設	新焼却施設では、余剰エネルギーを場内利用や災害対応として利用するため。
3	循環型社会形成推進交付金制度が創設された平成 17 年度以降に契約した施設	新焼却施設では循環型社会形成推進交付金制度を利用することから、同制度の交付金内外事業費の内訳書を作成したことのある実績を持つことが重要であるため。